# 参考資料

## 参考① 大阪市における考え方

基本的な対策としては、各事業所において「一斉帰宅の抑制」に取り組む中で、帰宅困難者に関する計画(防災計画)の作成・啓発や連絡手段の確認(情報入手方法の確保)、対応の準備(安全対策)を行うとともに、「帰宅困難者の安全確保」と「帰宅困難者への情報提供」を駅周辺での混乱を防止する対策の基本とし、そのための「帰宅困難者へのICT等による情報発信手段の確保と情報収集手段の情報提供(自助支援)」、「情報提供拠点の確保」と「一時滞在スペースの確保」に取り組む。

#### 帰宅困難者の安全確保

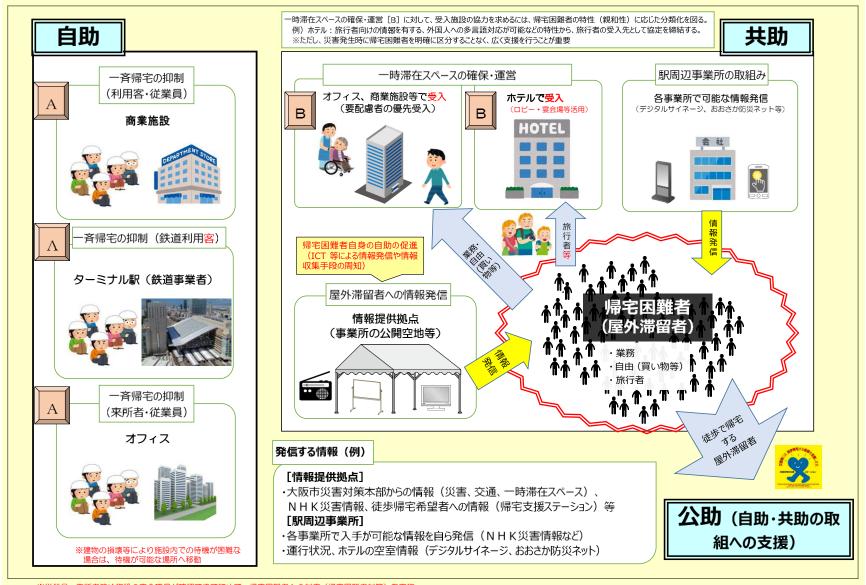
#### (1)屋内滞留者の安全確保

- 施設内の従業員等、来所者、生徒等⇒施設内で安全確保(屋外へ出さない)
- ・従業員等の滞留の目途 ⇒3日間(屋外滞留者は「1泊」を目途)

#### (2)屋外滞留者の安全確保

- ・ICT等による情報発信や情報収集手段の周知
- 情報提供拠点での情報発信
- 一時滞在スペースでの受入

#### 帰宅困難者対策の全体概要イメージ



### 参考② 上町断層帯地震の想定震度分布

